

平成27年1月8日

No 127

〈浜松の元気になる気がする〉

パナソニックが縦型洗濯機の生産を袋井市の工場へ、電子レンジの生産を神戸市の工場へ、中国から移す検討。シャープが栃木県矢板市の工場生産するテレビの種類を増やし海外生産の国内回帰をさらに進める方針を明らかにした。ダikin工業が中国の委託先が生産する家庭用エアコンの一部も滋賀県へ移している。家電業界での生産、国内回帰のニュースがありました。

浜松は製造の主でありますので、直接の関わりは薄いかも知れませんが、国内の生産が増えることは、少しは期待を掲げて明かになる感じがします。また、静岡県は、東京、ものづくり経営研究センターと連携して、中小企業支援の強化を本格化する。これまでの支援は、主に倒産の恐れがある企業を対象にしていたが、今回は革新的な生産手法や戦略的な経営手法に挑戦する企業に対し、実践的な手法の習得も支援する。浜松市は、浜松市創業支援事業計画（はつ子プロジェクト）として、創業、新事業展開セミナーの開催など創業支援事業も実施しています。景気回復、活性化のための支援があります。

何かを変えていく、静岡県、浜松市の支援をやるべきことが見えてきて、ケレアフでも明かになっていく気がします。会計事務所業界も同じですが、世の中で、必要とされるものが変わってきて、変化に対応した企業が、しっかり成長を続けている。業種は同じでも、商品・サービスが違っている。必要とされなくなったものもある。消費税の増税後、消費は低迷していますが、必要とされるものはしっかりと需要があります。一年の始まりでありますので、箱車は何か、使命は何か、必要とされるものは何か、何をすればいいのか、目標、夢を持ち、身だしなみを持ち、物心両面を豊かにするよう、日々新たに行動をしたいと思います。浜松の元気になっていく気がします。高林幸裕